

仲間と一緒に！介護予防
元気が出る学校 卒業式

介護予防教室「元気が出る学校」に6月に入学した3人の卒業式が10月19日、さんふれあで行われました。同学校は、簡単な体操やストレッチ、口の体操や栄養・認知症予防など、元気に生活するためのこつを仲間と一緒に学べる教室です。

卒業生は「支えてくれた周りの人に感謝し、転ばぬ先のつえを突きながら毎日体操と散歩を続け、これからは過ごしていきたいです」と卒業に当たり決意を新たにしました。



▲元気が出る学校の卒業式で今後の抱負を宣言する卒業生

校区ごとに意見交換
住民懇談会 開催

第5期総合計画後期基本計画に関する住民懇談会を11月16日から各町民センターで小学校区ごとに開催しました。町は平成28年度、平成32年度の後期基本計画の策定状況について、町民の皆さんからいただいた地域の課題や要望などの意見をどのように反映させているかなどを説明し、意見を交換しました。

今後もいただいた意見を協議の中に盛り込みながら、来年3月までの策定を目指します。



▲武北小学校区の住民懇談会で意見する地域住民

ぶくぶくうがいで歯を健康に
各小学校でフッ化物洗口開始

第1回目のフッ化物洗口が10月から町内の小学校で始まっています。町は、希望する児童を対象に、各小学校でフッ化物洗口を毎週1回実施します。

虫歯の主な原因は甘い飲食物、虫歯菌、歯の質です。虫歯の多発時期は集団生活を送っている年齢のころです。虫歯の予防には、甘いものを控え、歯磨きで虫歯菌を取り除き、フッ化物を利用して、歯を強くすることが大切です。4歳～14歳の期間にフッ化物洗口をすると虫歯予防の効果が大きく、歯を強くすることができます。



1ぶくぶくうがいを60秒する児童2うがいの容器を先生から受け取る3きれいな歯で健康に笑顔で楽しく虫歯予防

できます。生活環境に合わせた虫歯予防をすることで、子どもたちの将来の歯を健康に保てます。

初めてぶくぶくうがいをしたという南小6年の鍋島彩里さんは「薄いピンク色で不思議な味でした。泡がたたくと出ました。このぶくぶくうがいで、虫歯のないきれいな歯を保ちたいです」と話していました。

虫歯予防は無理なく楽しく日常生活の習慣として自然に取り入れられます。虫歯や歯周病で悩まない快適な生活を送るために、毎日の生活に虫歯予防を習慣化させましょう。

本の世界で得た感動を表現
第26回菊陽町読書感想画コンクール

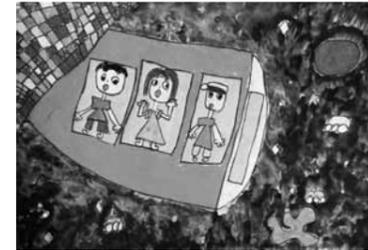
菊陽町読書感想画コンクールも26回目を迎え、今年度は約4,200点の作品の中から、審査の結果、30点の特選作品が選ばれました。

作品は町内の小・中学校8校の児童・生徒が夏休みの課題や授業で制作。どの作品も見ただけで本の内容が思い起こされるほど生き生きと描かれていました。

受賞作品は12月2日(水)～12月21日(月)、菊陽町図書館ロビーに展示しますので、ぜひご覧ください。



▲溝口 このは(菊陽中1年) 書名「利休にたずねよ」 絵の題名「儂い過去と恋」



▲小牧 一花(菊陽南小3年) 書名「いえでででんしゃはこしょうちゅう？」 絵の題名「広いうちゅう」

チーム一丸でエンジョイ！
菊陽町子ども会ドッジビー大会

菊陽町子ども会ドッジビー大会が10月25日、菊陽中部小学校の体育館で開催されました。

ドッジビーとは、スポンジの円盤を使ったドッジボールのようなルールのニュースポーツ。今大会はJ A 菊池菊陽中央支所の協賛で低学年のAパート5チーム、全学年のBパート8チームが出場し、熱戦を繰り広げました。チーム一丸となって練習の成果を十二分に発揮する姿に、訪れた多くの保護者は盛んに声援を送っていました。



▲Aパート優勝チーム Sunny's(緑陽台)



▲Bパート優勝チーム green's(緑陽台)

▼受賞者一覧(敬称略)

学年	氏名	学校名	学年	氏名	学校名	学年	氏名	学校名
小1	豊島実穂乃	武蔵ヶ丘小学校	小4	坂本 孝太	菊陽中部小学校	小6	福島 悠誠	武蔵ヶ丘北小学校
	金重さくら	菊陽西小学校		八木 啓仁	菊陽中部小学校		溝口このは	菊陽中学校
	下窄 穂華	武蔵ヶ丘北小学校		外山 勇介	菊陽西小学校		穴見 碧唯	武蔵ヶ丘中学校
小2	西本恵一朗	菊陽中部小学校	小5	松高 紗也	武蔵ヶ丘北小学校	中1	吉永 真史	武蔵ヶ丘中学校
	鹿子木 迅	菊陽北小学校		下村 芭榴	菊陽北小学校		福田 百香	菊陽中学校
	坂梨 恵実	菊陽西小学校		幸 那奈海	菊陽北小学校		宮原悠里子	武蔵ヶ丘中学校
小3	小牧 一花	菊陽南小学校	小6	出口 貴大	菊陽西小学校	中2	山口はるか	武蔵ヶ丘中学校
	阿南 昌景	菊陽北小学校		松田 直	武蔵ヶ丘北小学校		福森 千聖	菊陽中学校
	林 ひなた	武蔵ヶ丘小学校		城野 悠光	武蔵ヶ丘小学校		井 梨緒奈	武蔵ヶ丘中学校
	藤村 美波	菊陽西小学校		高城 歌穂	菊陽西小学校		彩里奈	武蔵ヶ丘中学校

ン・小城徹真さんは「優勝できて良かった！とても楽しかった」と話していました。

試合結果は次の通りです。

- ◎Aパート
 - 【優勝】Sunny's(緑陽台)
 - 【準優勝】♡Rainbow好いと うよ♡(にじの森)
 - 【第3位】Rainbow for est(にじの森)
- ◎Bパート
 - 【優勝】green's(緑陽台)
 - 【準優勝】武蔵ヶ丘4町内
 - 【第3位】上津久礼B



税への理解を ～税を考える週間～

税の作品コンクール表彰式

税の作品コンクール表彰式が11月16日、イオン菊陽店で行われ、6人が受賞しました(敬称略)。

【書道の部】菊陽町長賞：武蔵ヶ丘小6年田崎晏実、菊池青色申告会連合会長賞：武蔵ヶ丘小3年増田美結、南九州税理士会菊池支部長賞：西小4年田尻優奈、菊池地区宅建業税務協議会長賞：西小5年清田真永【ポスターの部】菊池地区納税貯蓄組合連合会長賞：武蔵ヶ丘小5年鍋島安希【作文の部】菊池地区租税教育推進協議会長賞：武蔵ヶ丘中3年吉村咲



▲3,350点の応募の中から受賞された皆さん(前列)

おいしいお米実ったよ

菊陽南小学校5年生稲刈り

秋晴れの中、菊陽南小学校5年生11人が10月26日、南小学校そばの西岡和博さんの田で稲刈りをしました。子どもたちは6月に苗を植えた後、育つ様子を観察。この日はたわわに実った稲を丁寧に刈り取りました。西岡さんは「一粒でも無駄にしないようにね」と声を掛け、「虫が食べている野菜は安全でおいしい。野菜の選び方も覚えて」と目を細めました。鍋島康銘さんは「鎌で刈るのは力があるので疲れたけど楽しかった。学校で食べるのが楽しみ」と声を弾ませました。



▲黄金色に輝く稲を一生懸命鎌で刈り取る南小児童

地域を美しい環境に

菊陽町シルバー人材センター清掃活動

菊陽町シルバー人材センターに登録している会員100人と職員合わせて104人が10月17日、菊陽町役場と菊陽中学校周辺をボランティアで清掃しました。これは町役場を気持ちよく利用してもらうための活動。参加者は3班に分かれて道路に落ちているごみや空き缶などを拾ったり花壇の除草をしたり余計な枝のせん定をしたりと約1時間汗を流しました。参加した会員は「地域の美しい環境づくりを手伝えてうれしいです。次回もぜひ参加したい」と話していました。



▲町役場前の花壇の除草をするシルバー人材センター会員

甘いあんがみそ汁の塩辛さとマッチ

菊陽中学校「あんもちだご汁作り」

菊陽町生活研究グループ員指導の下、菊陽中学校2年生175人が10月13日～16日、菊陽中学校調理室で郷土料理「あんもちだご汁」を作りました。菊陽産のにんじんやダイコン、甘い芋あんを入れた「だご」を味噌汁に入れた地産地消の「あんもちだご汁」。初めて知る生徒も多く、「家で作る時はどんな工夫をしますか」など料理のこつを質問しながら班で協力して楽しく作っていました。その後、試食した生徒たちは「甘くておいしい!」と口々に話していました。



▲甘くておいしい郷土料理「あんもちだご汁」を作る生徒

あか 光の森を灯りの森へ

第3回夢街光の森会秋まつり

光の森地区の商工業者らでつくる夢街光の森会(竹尾景利会長)の秋まつりが10月24日、光の森町民センター「キャロピア」一帯でありました。

キャロピア体育館では午前11時～午後5時に菊陽武蔵剣豪太鼓の演奏やダンス、菊陽中学校吹奏楽部の演奏、熊本を中心に活動している「四季彼方」のライブなどが披露され会場を盛り上げました。また、町商工会青年部が焼きそばやたこ焼き、クレープ、うどん、雑貨などの屋台も出店。訪れた多くの家族連れがステージに拍手を送ったり写真を撮ったり、おいしい料理に舌鼓を打って楽しんでいました。

「町の未来と子どもたちの未来に祈りを込めて」と題し、多目的広場には町内の小中学校の児童や生徒、園児などが作った約4千個の紙灯ろうが設置。午後5時以降、発光器具を入れられると色とりどりの絵やメッセージが浮かび上がり幻想的な空間を作り出していました。訪れた親子連れなどが子どもの描いた絵と一緒に探す姿も。キャロピア入口には竹あかりが設置され、友人や家族が仲良く記念撮影をしていました。



1多目的広場に設置された約4千個の紙灯ろう 2光の森町民センター「キャロピア」入口の竹あかりに「きれい」と歓声が飛び交う 3駐車場に多くの屋台が並び、大勢の家族連れなどでにぎわう

農業を営みながら夢叶えて

サッカー1級審判員・上田隆生さん知事表敬訪問

ことし1月13日にサッカー1級審判員に登録された上田隆生さんが10月26日、蒲島郁夫熊本県知事を表敬訪問しました。1級審判員は国内サッカー審判の最高峰の資格です。蒲島知事は「農業を営みながら夢を実現されたんですね。頑張ってください」と激励。上田さんは年末から行われる第94回全国高校サッカー選手権大会に参加します。「参加できることに感謝し、審判チームとして良いゲームが運営できるよう準備をして大会に臨みます」と笑顔で話していました。



▲蒲島知事が夢と書き入れたサッカーボールを持つ上田さん

頑張っ育てたよ

菊陽中部小学校5年生バケツ稲収穫体験

菊陽中部小学校5年生117人が10月19日、前田孝一さんなど指導の下、1人1個のバケツで種まきから育てた稲を刈り取り、10月26日に脱穀ともみすりを体験しました。児童は総合学習の授業でバケツ稲に取り組み、夏休みは家に持ち帰って水やりなどをして管理。高宮夢乃さんは「もみすりは難しかったけど、やってみると楽しかった。雑草取りなど頑張っ育てた甲斐があった」と一生懸命世話をした害虫や病気から守った稲にお米が実った喜びを実感していました。



▲前田さんと一緒に「千歯扱き」を使って脱穀をする児童



生垣が取り持つ住民と学生の縁

第34回鉄砲小路生垣せん定作業

東海大学農学部「緑の会」の学生33人と長野克也教授が11月7日、鉄砲小路区の生垣約4[㊦]をせん定し、地域住民と交流しました。緑の会は同大学の故戸田義宏教授を中心に生垣保存の重要性を伝えるために結成され、昭和57年から学生有志が毎年続けてきました。

学生は「地域の温かさを感じた。生垣や食べ物で交流でき楽しかった」と話し、長野教授は「生垣は景観を良くし地域のつながりも深める。地域と触れ合い、皆さんの思いをくんでほしい」と語りました。



▲鉄砲小路区住民の指導の下、せん定する学生たち

780人がにんじんの里快走

第29回菊陽町にんじんの里マラソン大会

爽やかな秋晴れの下、第29回菊陽町にんじんの里マラソン大会が11月1日、菊陽杉並木公園周辺で開催されました。参加者780人は2[㊦]・5[㊦]・10[㊦]の3種目に分かれて菊陽杉並木公園を和気あいあいとしたムードでスタート。小学生から高齢者までが自慢の健脚を競い、緑豊かな田園地帯を快走して心地よい汗を流しました。走者は沿道の家族や地元住民の温かい声援にっこり。参加者全員に町特産のにんじん数本と隣接するさんふれあ入湯券などが渡されました。



▲「歴選50選」にも選ばれた鉄砲小路を快走する参加者

1年間の集大成

第26回働く婦人の家講座発表会

第26回働く婦人の家講座発表会が10月24日・25日、三里木町民センターで開催されました。1年間を通して作り上げた洋裁や手編み、パッチワーク、絵手紙、水墨画などの作品展示や茶道のお点前、切り絵とトールペイントの体験コーナーがありました。多くの講座生が優雅に舞う花架拳や元気いっぱいエアロビクス、役者顔負けの英語劇などをステージで発表し、会場を盛り上げました。発表者は「毎年の発表会を楽しみに頑張っている」と爽やかな笑顔を見せました。



▲小道具も手作り。エンジョイ英会話講座の「舌切りすずめ」

熊本の地下水を守る

第29回肥後の水とみどりの愛護賞表彰式

第29回肥後の水とみどりの愛護賞表彰式が10月27日、肥後銀行本店で開催され、町内の(株)山内本店が受賞しました。この賞は、水とみどりの保全に熱心に取り組む、着実な成果をあげている県内の団体などを表彰するもので、同社の水田湛水事業やウォーターオフセット事業などの活動と実績が高く評価され、今回の受賞となりました。同社の山内卓社長は「熊本の宝である地下水を守るため、多くの水を使用する企業のかたがたに広がってほしい」と話しました。



▲(株)山内本店の山内卓社長 ▲地下水涵養米を使ったみそ

元気に育って 大声で祈る

辛川区の伝統行事「亥の子参り」

辛川区で100年以上続いている伝統行事「亥の子参り」が11月7日、午後7時から同地区で行われました。亥の子参りはことし生まれた子どもの家庭を小学1年生～中学2年生の男の子が周り、子の無病息災と子孫繁栄を祈る行事。この日は児童13人が昔から引き継がれている、縄が巻かれた大きな石を持って各家庭3軒を回りました。

ことし頭の菊陽中2年・坂本達海さんが玄関前に大きな石を運んだ後、みんなで「わあー」と大声を出しながら走ってきて、「わっしょい」と威勢よく3回発しながら石を3回地面に突いていました。その後、夜空に響かばかりの元気な声で「君が代」を歌い、子の名前を呼んで万歳三唱。各家庭からは亥の子餅や菓子などが配られ、万病除去と子孫繁栄を祈りました。坂本さんは「みんな大声が出たので良かった。元気に育ってほしい」と力強く話していました。

酒井元慈くん(3カ月)の父・俊一郎さんは「私も子どものとき、男の子たちと同じように周っていた。健康で元気な子に育ってほしい」とほほ笑みました。



1ことし子どもが生まれた家庭の玄関前で「わっしょい」と威勢よく石を3回地面に突く2ことし生まれた子どもの家族が亥の子餅や菓子などをふるまう3国歌「君が代」を大声で熱唱する男の子たち

はじめ号 部門優勝!

熊本県畜産共進会

県内の畜産農家が育てた牛を品評する熊本県畜産共進会が10月31日、熊本県家畜市場で開催され、本町の畜産農家2戸が2頭出品しました。菊池都市大会でグランドチャンピオンに輝いた東清一さん(戸次)の「はじめ」号は県大会である熊本県畜産共進会も見事勝ち抜き、黒毛和種の親牛の部で部門優勝しました。惜しくもグランドチャンピオンは逃しましたが、県内でも優秀な成績を収めました。東さんは「これから美味しい牛を生産します」と意気込みを話しました。



▲県でも優秀な成績を収めた「はじめ」号

秋のひととき おはなしの世界へ

おはなしの森さんさん「秋のおはなし会」

秋のおはなし会が11月8日、菊陽町図書館で開催されました。これは読書週間に合わせて、菊陽町図書館ボランティアグループ「おはなしの森さんさん」の皆さんが開催。絵本や語り、紙芝居、ブラックパネルシアターなどを披露しました。

会場いっぱい集まった家族連れなど約70人は、情感あふれるおはなしに静かに聞き入っていました。パネルシアター「だれでしょう」では、話し手からの問いかけに子どもたちは笑顔で応えていました。



▲手遊びを行う「おはなしの森さんさん」の皆さん